



Informatica® Application Integration
Winter 2019

Amazon SNS コネクタガ イド

Informatica Application Integration Amazon SNS コネクタガイド
Winter 2019
2019 年 3 月

© 著作権 Informatica LLC 1993, 2020

発行日: 2020-01-27

目次

序文	4
第 1 章 : Amazon SNS コネクタについて	5
Amazon SNS コネクタ.....	5
Amazon SNS コネクタの実装.....	5
サブスクライバのプロトコル.....	6
第 2 章 : Amazon SNS 接続	7
基本的な接続プロパティ.....	7
Amazon SNS 接続のプロパティ.....	8
第 3 章 : Amazon SNS 接続のプロセス	9
Amazon SNS コネクタのサービス.....	9
トピックの作成.....	9
トピックの削除.....	9
リストトピック.....	10
メッセージのパブリッシュ.....	10
表示名の設定.....	10
トピックのサブスクライブ.....	11
サブスクライブ解除.....	11
Amazon SNS コネクタを使用したプロセスの例.....	11
索引	13

序文

アプリケーションの統合向け *Amazon SNS* コネクタガイドでは、Amazon SNS 接続の設定方法と使用方法について説明します。このガイドは、Amazon SNS Web サービス、Amazon SNS エンドポイントの作成方法、アプリケーションの統合を使用したサービス呼び出しの定義方法を理解している人を対象としています。

第 1 章

Amazon SNS コネクタについて

この章では、以下の項目について説明します。

- [Amazon SNS コネクタ, 5 ページ](#)
- [Amazon SNS コネクタの実装, 5 ページ](#)
- [サブスクライバのプロトコル, 6 ページ](#)

Amazon SNS コネクタ

Amazon SNS コネクタは、Amazon Service Notification Server (SNS) でのトピックの作成と管理、トピックのサブスクライブ、トピックへのメッセージのパブリッシュに使用できるサービスコネクタです。

Amazon SNS は、サブスクライブしているエンドポイントへのトピックのメッセージの配信を調整および管理する Web サービスです。

Amazon SNS サーバーに接続するための Amazon SNS 接続を作成します。プロセスで、複数のアクティビティを実行するサービス呼び出しを設定する場合は、この接続を使用します。接続を作成する前に、Amazon Web Service の有効なアクセスキー ID とシークレットアクセスキーの値があることを確認してください。Amazon SNS 接続を作成するときに、ユーザーはこれらのキー値を提供する必要があります。

Amazon SNS コネクタの実装

Amazon SNS コネクタは、Amazon Service Notification Server (SNS) で複数のタスクを実行するために使用できるサービスコネクタです。

パブリッシャが通知およびメッセージを送信できるトピックを作成するには、トピックの作成サービスを使用できます。各トピックは一意的な名前である Amazon リソースネームを持っており、この名前で、パブリッシャがメッセージの投稿に使用し、サブスクライバが通知に登録するために使用する、Amazon SNS エンドポイントを識別します。

トピックにエンドポイントをサブスクライブするには、トピックのサブスクライブサービスを使用できます。サブスクライブするエンドポイントは、Amazon SNS から通知メッセージを受信できるモバイルアプリ、Web サーバー、電子メールアドレス、または Amazon SQS キューです。任意のトピックにエンドポイントをサブスクライブし、サブスクリプションが確認されると、Amazon SNS コネクタはそのトピックからのプッシュメッセージと通知をサブスクライバエンドポイントに送信します。サブスクライバは、サブスクライブしているトピックにパブリッシュされたすべてのメッセージを受信します。あるトピックにサブスクライブしたすべてのサブスクライバは同じメッセージを受信します。

トピックにメッセージをパブリッシュするには、メッセージのパブリッシュサービスを使用できます。各エンドポイントに送信されるメッセージのフォーマットは、サブスクライブされたエンドポイントに対して選択したサブスクリプションプロトコルによって変わります。

Amazon SNS は、シグネチャバージョン 4 署名プロセスを使用して安全な通信を行います。シグネチャバージョン 4 署名プロセスには、AWS リクエストに認証情報を追加する方法が記述されています。セキュリティ上、AWS へのほとんどのリクエストは、アクセスキー ID とシークレットアクセスキーを使用して署名されている必要があります。

サブスクライバのプロトコル

トピックをサブスクライブするときに、メッセージをパブリッシュするためのさまざまなプロトコルオプションを選択できます。

以下の表に、サブスクライバプロトコルオプションを示します。

プロトコル	説明
HTTP/HTTPS	HTTP または HTTPS の 1 つ以上のエンドポイントへのメッセージを HTTP POST リクエストとして受信します。 サブスクライブされたエンドポイントは、http://または https://で始まる URL です。
SMS	SMS 対応の携帯電話とスマートフォンへの SMS 通知を受信します。 サブスクライブされたエンドポイントは、SMS 対応デバイスの電話番号です。 注: SMS 通知は、米国内の電話番号でサポートされています。
email	電子メールアカウントへのメッセージを受信します。 サブスクライブされたエンドポイントは電子メールアドレスです。
SQS	サブスクライブされたキューに Amazon SQS メッセージとしてパブリッシュされたメッセージを受信します。 サブスクライブされたエンドポイントは、Amazon SQS キューの ARN です。
application	アプリケーションイベントおよびシステムアラートに基づいて通知とメッセージを受信します。 サブスクライブされたエンドポイントは、モバイルアプリとデバイスのエンドポイント ARN です。
Lambda	パブリッシュされたメッセージのペイロードを使用して、トピックにサブスクライブされた Lambda 関数を実行します。 サブスクライブされたエンドポイントは、AWS Lambda 関数の ARN です。

注: 実際にトピックをサブスクライブするには、エンドポイント所有者が確認プロセスを完了する必要があります。

詳細については、Amazon SNS のマニュアルを参照してください。

第 2 章

Amazon SNS 接続

この章では、以下の項目について説明します。

- [基本的な接続プロパティ, 7 ページ](#)
- [Amazon SNS 接続のプロパティ, 8 ページ](#)

基本的な接続プロパティ

次の表に、[接続] ページの【プロパティ】タブで使用可能な基本プロパティを示します。

プロパティ	説明
名前	必須。Process Designer での識別に使用される、この接続の一意の名前。
場所	接続を配置するプロジェクトまたはフォルダの場所。接続の場所を選択するには、適切なプロジェクトまたはフォルダを参照するか、デフォルトの場所を使用します。
説明	オプション。接続の説明。
タイプ	必須。この接続に使用するコネクタまたはサービスコネクタ。設定するタイプを選択します。
実行日時	必須。この接続を実行する Cloud Server または Secure Agent。
接続テスト	直前の接続テストが表示されます（接続タイプでサポートされている場合）。
OData 対応	（接続タイプでサポートされている場合）。OData フィードを有効にし、許可されているユーザーとグループを指定するには、[はい] を選択します。
OData で許可されたロール	オプション。設計時に接続へのアクセス権を持つロール。カスタムロールまたはシステム定義ロールを入力できます。このフィールドには複数のロールを入力できます。

これらの基本プロパティに加え、コネクタによっては次を定義します。

- 接続タイプに適したプロパティ。
- **【イベントソース】** および **【イベントターゲット】**（当てはまる場合）。

【メタデータ】 には、接続のパブリッシュ時に生成されたプロセスオブジェクトが表示されます。

Amazon SNS 接続のプロパティ

次の表に、Amazon SNS 接続のプロパティを示します。

接続プロパティ	説明
SNS エンドポイント	Amazon SNS が通知メッセージのパブリッシュに使用する地域固有の Web エンドポイント。
アクセスキー	必須。Amazon アカウントリソースへのアクセスに使用されるアクセスキー ID。
秘密鍵	必須。Amazon アカウントリソースへのアクセス時に使用するシークレットアクセスキー。この値はアクセスキーに関連付けられており、アカウントを一意に識別します。

第 3 章

Amazon SNS 接続のプロセス

この章では、以下の項目について説明します。

- [Amazon SNS コネクタのサービス, 9 ページ](#)
- [Amazon SNS コネクタを使用したプロセスの例, 11 ページ](#)

Amazon SNS コネクタのサービス

Amazon SNS で実行できるアクティビティは、プロセスのサービスステップで設定できるサービスとしてリストされます。

サービスを設定するには、サービスに必要な入力フィールドを特定して渡す必要があります。プロセスでその他のステップを実行するために、サービス出力を使用することもできます。

トピックの作成

アプリケーションの統合は通知およびメッセージをパブリッシュできるトピックを作成します。

入力フィールド

作成するトピックの名前です。

出力フィールド

- トピックに割り当てられた Amazon リソースネーム (ARN)。トピック ARN を使用して、トピックへのメッセージのパブリッシュ、トピックのサブスクライブ、トピックからのサブスクライブ解除を行うことができます。
- トピック ARN 応答
- ステータスコード

トピックの削除

アプリケーションの統合はトピックとそのすべてのサブスクリプションを削除します。

注: トピックを削除すると、そのトピックにこれまでに送信されたメッセージがトピックのサブスクライバに送信されない場合があります。

入力フィールド

削除するトピックの Amazon リソースネーム。

出力フィールド

ステータスコード

リストトピック

アプリケーションの統合はリクエストのトピックのリストを返します。

入力フィールド

次のトークン。オプション。Amazon SNS コネクタは、一度に最大 100 個のトピックを返します。Amazon SNS サーバーに 100 個を超えるトピックがある場合、ページ分割するために「次のトークン」パラメータが返されます。例えば、プロセスでデータ判定ステップを設定し、「次のトークン」パラメータを使用して残りのトピックを取得することができます。

出力フィールド

- トピックリスト
- ステータスコード
- 次のトークンの応答
- 次のトークン

メッセージのパブリッシュ

アプリケーションの統合が、トピックに関連付けられた、サブスクライブされたすべてのエンドポイントにメッセージを送信します。

サブスクライブされた各エンドポイントに送信されるメッセージのフォーマットは、選択した通知プロトコルによって変わります。

入力フィールド

- トピックに割り当てられた Amazon リソース名。
- トピックでパブリッシュするメッセージ。
- トピックでパブリッシュするメッセージの件名。

出力フィールド

- パブリッシュ応答
- ステータスコード

表示名の設定

アプリケーションの統合はトピックに表示名を設定します。トピックの SMS メッセージをパブリッシュするには、トピックに表示名を割り当てる必要があります。

入力フィールド

- 表示名を設定するトピックの Amazon リソースネーム。
- トピックに設定する表示名。

出力フィールド

ステータスコード

トピックのサブスクライブ

アプリケーションの統合は、エンドポイントに確認メッセージを送信して、エンドポイントをサブスクライブする準備をします。

実際にトピックをサブスクライブするには、エンドポイント所有者が確認プロセスを完了する必要があります。例えば、HTTP エンドポイントをサブスクライブする場合、この Web アプリケーションから AWS のサービスに確認メッセージが送信されます。

入力フィールド

- サブスクライブするトピックの Amazon リソースネーム。
- 通知の送信先となるエンドポイント。
- 通知を送信するプロトコル。選択できるサブスクライブプロトコルオプションは、HTTP、HTTPS、電子メール、アプリケーション、SMS、SQS、Lambda です。

出力フィールド

- サブスクライブ結果
- 応答メタデータ
- ステータスコード
- リクエスト ID
- エラーメッセージ

サブスクライブ解除

アプリケーションの統合はトピックへのサブスクリプションを解除します。

入力フィールド

サブスクライブ解除するトピックのサブスクリプション ARN。サブスクリプション ARN の値は、サブスクリプションサービスのサブスクライブ結果出力フィールドで提供されます。

出力フィールド

ステータスコード

Amazon SNS コネクタを使用したプロセスの例

1 つのプロセスに、Amazon SNS で複数のアクティビティを実行する複数のサービスステップを設定できます。例えば、トピックを作成し、トピックをサブスクライブして、そのトピックにメッセージをパブリッシュすることができます。

メッセージのパブリッシュ

トピックに関連付けられた、サブスクライブされたエンドポイントにメッセージをパブリッシュできます。

このメッセージをパブリッシュする例では、次のステップを実行します。

1. Amazon Simple Notification Service に接続するための Amazon SNS 接続を作成します。
2. プロセスを作成し、Amazon SNS 接続のサービスを使用するサービスステップを設定します。
3. ステップを挿入し、メッセージのパブリッシュサービスを選択します。メッセージをパブリッシュするトピックの ARN を指定し、パブリッシュするメッセージを指定します。

4. メッセージのパブリッシュサービスのステータスコード出力フィールドとパブリッシュ応答出力フィールドを取得するための割り当てステップを設定します。
5. プロセスを保存してパブリッシュし、実行します。メッセージが、そのトピックをサブスクライブしたすべてのエンドポイントにパブリッシュされます。

トピックの作成とサブスクライブ

このトピックの作成とサブスクライブの例では、次のステップを実行します。

1. Amazon Simple Notification Service に接続するための Amazon SNS 接続を作成します。
2. プロセスを作成し、Amazon SNS 接続のサービスを使用するサービスステップを設定します。
3. ステップを挿入し、トピックの作成サービスを選択して、サービスの入力としてトピック名を指定します。
4. ステップを挿入し、トピックのサブスクライブサービスを選択して、トピックの作成サービスのトピック ARN 出力フィールドを入力として渡します。プロトコルで電子メールを選択し、有効な電子メールアドレスを指定します。
5. トピック ARN とステータスコードを確認するために、トピックの作成サービスの出力フィールドの値を取得するプロセス変数を作成します。
6. プロセスを保存してパブリッシュし、実行します。

トピックの作成サービスで指定したトピック名に基づいて Secure Agent がトピックを作成します。トピックのサブスクライブサービスで指定した電子メールアドレスに、Amazon SNS から確認メッセージが送信されます。確認プロセスを完了します。トピックのサブスクライブサービスで指定した通知エンドポイントが、トピックにサブスクライブされます。

索引

A

Amazon SNS

接続プロパティ [8](#)

Amazon SNS コネクタ

概要 [5](#)

例 [11](#)

さ

サービス

サブスクライブ解除 [11](#)

トピックのサブスクライブ [11](#)

トピックのリスト [10](#)

トピックの作成 [9](#)

トピックの削除 [9](#)

メッセージのパブリッシュ [10](#)

概要 [9](#)

表示名の設定 [10](#)

サブスクライバのプロトコル

概要 [6](#)

サブスクライブ解除

サービス [11](#)

と

トピックのサブスクライブ

サービス [11](#)

トピックのリスト

サービス [10](#)

トピックの作成

サービス [9](#)

トピックの削除

サービス [9](#)

め

メッセージのパブリッシュ

サービス [10](#)